

令和6年度 第2回 草津市社会福祉施設指定管理者選定評価委員会議事概要

開催年月日	令和6年10月9日(水)	開催時間	午前9時から午前11時30分まで
出席者	① 委員3名、施設担当職員3名、事務局3名、申請者 ② 委員3名、施設担当職員3名、事務局3名、申請者		
傍聴者	① 2名 ② 4名		
付議事項	指定管理者の候補者の選定に係る意見を求めることについて ① 「草津市立長寿の郷ロクハ荘」の指定管理者の候補者の選定 ② 「草津市立なごみの郷」の指定管理者の候補者の選定		
<p>1 開会</p> <p>2 「草津市立長寿の郷ロクハ荘」の指定管理者の候補者の選定【公募】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課より施設概要等説明 ・申請者プレゼンテーション ・質疑応答 ・審査・採決(非公開) <p>3 「草津市立なごみの郷」の指定管理者の候補者の選定【公募】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課より施設概要等説明 ・申請者プレゼンテーション ・質疑応答 ・審査・採決(非公開) <p>4 事務連絡</p> <p>5 閉会</p>			

◆令和7年3月31日で指定期間満了を迎える「草津市立長寿の郷ロクハ荘」および「草津市立なごみの郷」において、申請のあった団体（以下「申請者」という。）が指定管理者として適任かどうか審議を行った。

①「草津市立長寿の郷ロクハ荘」

1 担当課説明

施設概要や評価のポイント等について説明

2 申請者によるプレゼンテーションおよび質疑応答

◆公益財団法人草津市コミュニティ事業団（以下「事業団」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

＜委員（以下「委」という。）＞：来場者数については、コロナ禍と比べ、多世代にわたり増加したとのことだが、どのような取組が効果的だったのか。

＜事業団＞：健康バンド等の運動系の事業は、高齢者に人気がある。また、温浴事業では、毎月お風呂の日のイベントを設定し、ゆず湯等季節を感じられるお風呂を取り入れている。新しい世代に向けては、隣接するロクハ公園の利用後に入浴していただく流れを作るため、「手ぶらでお風呂事業」を行っており、年々浸透してきている。さらに、夏休みや冬休みには、ロクハ公園のイベントに合わせて出向き、子供向けの出し物を行うなど、多世代が利用できる施設であることをアピールしている。

＜委＞：高齢化が進む中で、入浴中の事故予防にこれまで以上に留意する必要があると考えるが、考えを教えてください。

＜事業団＞：コロナ禍においては「黙浴（黙って入浴すること）」をお願いしていたが、新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行された後、「黙浴」を解除した。それに伴い、長湯をされる方が増え、救急搬送も増えたと分析している。対策としては、常に入浴人数を把握し、定期的に巡回して安全を確認している。また、職員と利用者や利用者同士が顔見知りとなっていることもあり、長湯をされている方がいる旨の報告を職員に対していただくこともある。

＜委＞：巡回バスについて、費用対効果はどうか。今後増やす考えはあるのか。

＜事業団＞：現在は小型の10人乗りのバスを1台使用している。巡回ルートについては令和4年から利用者の声や実績等をもとに改善を行っているが、1コース週2回の運行であるため、バス利用者については週2回しかお越しいただけないのが現状である。今後は予約制やボランティア送迎等、よりよい運用について検討したい。

＜委＞：新型コロナウイルス感染症の流行、利用者の高齢化、インフレ、賃上げ等社会情勢が変化していく中で、経営面で工夫されている点は。

＜事業団＞：収支計画上、不足分については自主財源を充てて5年間経営するという計画を立てた。主に人件費や光熱費、施設の保守点検業務等に係る再委託費の上昇が影響している。しかしながら、当施設は公益財団法人としての大切な拠点であり、これはあくまでも計画であるため、5年間しっかりと経営できるよう経費削減に努めていきたいと考えている。

＜委＞：入浴中の事故防止について、継続的に顔見知りの関係を作ることは大切なことであると考えているが、温浴スタッフ・清掃業務については、外部委託されている。この

点については、どのように考えているか。

<事業団>：従前から委託している事業者については、お風呂の担当者が利用者と親しい関係性をつくり、事務所との交流もあるため、その点では問題ないと認識している。

<委>：研修等、職員のスキルアップの取組は行っているのか。

<事業団>：当事業団全体としては外部講師による研修を行っている。また、AEDの講習や接遇、事故が起きた際の研修等にも取り組んでいる。

3 採決

各委員による採点の結果、最低基準点を上回っており、出席委員全員の賛成が得られたことから、指定管理者として「公益財団法人草津市コミュニティ事業団」を候補者とすることが適当であるとの結論に至った。

②「草津市立なごみの郷」

1 担当課説明

施設概要や評価のポイント等について説明

2 申請者によるプレゼンテーションおよび質疑応答

◆株式会社光ビルサービス（以下「光ビル」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委員（以下「委」という。）>：高齢化が進む中で、入浴中の事故予防にこれまで以上に留意する必要があると考えるが、考えを教えてほしい。

<光ビル>：事故については、利用者の高齢化、施設の老朽化とともに深刻な問題であると考えている。一方で、市が作成した施設の仕様書を確認すると、事業中心の内容となっており、安全対策面についてはほとんどが指定管理者側で対応するということになっている。施設を利用いただく際、事故防止のために、職員が利用者の方に声をかけても聞いていただけないという現状も見られるため、入浴に関するガイドラインを市で作成いただきたいと考えている。

<委>：入浴中の事故は、必ずしも施設の老朽化が原因ではないと考える。

<委>：掲示物の文字が小さく、高齢者には読みづらいのではないかと感じる。

<光ビル>：少しでも大きな字でわかりやすいものとなるよう改善したい。

<委>：ポイント制度やスタンプラリー等の利用者が楽しめる取組を行っているが、職員のアイデアなのか。

<光ビル>：利用者の増加を図るために何か楽しい取組ができないかということで職員が考えたものである。

<委>：計画には、軽食をとる場所に看護師を配置すると記載されているが、温浴施設にいてもらうほうが良いのではないかと。

<光ビル>：入浴中の事故が発生する時間帯は、おおむね月曜日～金曜日の11時半から14時頃であり、その間、温浴施設の受付に看護師を配置したいと考えている。

<委>：事故件数41件のうち、同じ方がいるのであれば、顔見知りの関係の中で防げたものもあるのではないかと。

<光ビル>：新規の利用者より顔見知りの方の対応が難しい。声をかけても聞いてもら

えないことが多い。

<委>：職員が疲弊しているとのことであるが、経営面でどのような影響があると考えているのか。

<光ビル>：職員には日々様々な問題に対応してもらっているが、一定のルールがない中、利用者の方に対して理解を求めるのは難しく、押し切られるような場面もある。また、利用者が体調不良で倒れた場合等の緊急対応時には、職員個人に命に関わる重い責任がのしかかり、職員自身が心の病を患う可能性が高い。経営側としても、現在の人員体制で適切に施設を管理運営できるのかという葛藤の中で施設を運営している。

<委>：収支計画における支出のうち、増加となっている要因は。

<光ビル>：人件費となる。求人を出してもなかなか人が集まらない中、人材確保に大きな不安を抱えている。また、水道光熱費、巡回バスの委託費等、様々な要因があり、経費が膨らんでいる状態である。

<委>：今回の申請は、現行の指定管理者：特定非営利活動法人ひかりグループに、株式会社光ビルサービスが加わり、共同体として申請されているが、どのような面で収支計画に影響があるのか。

<光ビル>：収支計画においては赤字となっている一方で、施設の維持管理・運営については、各種団体との輪が広がってきており、一定以上の評価をいただき、素晴らしいものができていると考えていることを踏まえ、今回の申請に至った。今後、市と協議していきたいと考えている。

3 採決

各委員による採点の結果、最低基準点を上回っており、出席委員全員の賛成が得られたことから、指定管理者として「株式会社光ビルサービス」を候補者とすることが適当であるとの結論に至った。